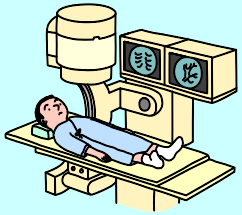
不整脈治療（アブレーション）の入院から退院までの流れ

様式1

ID：@{Patient.ID}　　氏名：@{Patient.Name}　様

	入院前	入院日	治療当日・治療前	治療中	治療後	治療後1日目	2日目～退院まで
月日	／	／	／			／	／
治療 処置 検査等	・必要に応じて検査があります ・治療時間は入院当日の14時以降に決まります	・採血、レントゲン、心電図、心臓エコーが必要に応じてあります ・手足の脈の触れるところにマジックで印をつけます ・血栓予防のためのストッキングのサイズを測ります ・心電図ﾓﾆﾀｰをつけます 	・手術着に着替えます ・時計、眼鏡、アクセサリー等は外します ・入れ歯のある方は、装着したままで治療に行きます ・血栓予防のストッキングをはきます ・バスタオルを1枚ご用意下さい。治療室に持参します ・治療前から点滴をします ・治療室にはストレッチャーで移動します	・治療台に仰向けになります ・治療中は血圧、心電図などの器械を装着します ・造影剤を使用するため体が熱くなったり吐き気がある場合があります ・治療中は鎮静剤を使用するため、呼吸を調節するための管を口に入れます ・心房細動、心房粗動、心室頻拍の場合は足の付け根と首の血管から、それ以外の不整脈の場合は足の付け根の血管からカテーテルを入れて治療をします	・カテーテルを抜いた部位の状態を確認します ・帰室時心電図をとります。その後、再度心電図モニターをつけます ・圧迫は看護師が時間ごとにゆるめ、最終的には医師が外します ・治療終了後、指示があるまで点滴があります 	・抗生剤の点滴があります 	・医師の許可があれば心電図モニターは中止となります
食事		・医師の指示による食事が出ます。食事制限やアレルギーのある方はお知らせ下さい ・間食を避け病院食を食べて下さい ・栄養士から栄養指導があります	・午前の方は朝食は食べられません ・午後の方は昼食は食べられません ・水やお茶は飲むことができます		・飲水や食事はしっかり目が覚めた後に可能となります。安静のため、寝たまま食べて頂きます。 ・必要時、食事のお手伝いをしますが、場合によってはご家族にお手伝いをお願いすることがあります。 ・水分は、500ml以上を目安に十分とって下さい。水分制限のある方は、看護師にご確認下さい。	・カテーテルを抜いた部位に異常がなければ、座って朝食が食べられます	
薬	・指示されたお薬を服用して下さい ・内服中のお薬とお薬手帳を入院日にご持参下さい		・糖尿病の薬（血糖降下剤）やインスリンの注射は中止です ・ワーファリンは継続です。その他の抗凝固剤は当日中止します		・内服は続けてお飲み下さい。中止や変更がある場合はお知らせします。	・中止していた抗凝固剤の内服を再開します	
安静度	・入院生活や治療の流れについて説明します ・治療時必要ですのでバスタオルを1枚ご用意下さい	・病棟内で過ごして下さい			・ベッドの上だけで過ごします ・カテーテルを抜いた所は出血の可能性があります。曲げたりせず安静を保って下さい ・医師の指示により動ける範囲をその都度説明します ・動くのが難しい場合は、お手伝いします	・病棟内で過ごして下さい ・カテーテルを抜いた部位を医師が確認してから歩行可能となります	・心電図モニター中止後は病院の中は自由に動けます
排泄		・制限はありません	・男性は治療室で、女性は病棟で尿の管を入れます			・歩行可能となったら尿の管を抜きます	
清潔	・手術衣が必要ですので、CSセットプランを利用していただきます ・アクセサリーは外せる状態で、マニキュアなどはとった状態で入院して下さい	・足のつけ根や太ももの毛を剃ります。その後シャワーをして下さい	・シャワーはできません			・看護師が体を拭きます。シャワーはできません	・シャワーができます
説明		・胸が痛い等の症状があれば、ナースコールでお知らせ下さい 	・連絡がありましたら、ご家族と一緒に治療室（地下1階）に行きます ・治療中必要時、終了後に主治医よりご家族に説明があります ・治療中はご家族にPHSをお渡しします。院内でPHSに出られる状態でお待ち下さい		・痛みや気分不良などあればナースコールでお知らせ下さい	・退院後の生活について説明します	・退院は午前中にお願いします

県立広島病院　循環器内科　　電話　082-254-1818（代表）